

日本鉄鋼協会記事

企画委員会

第5回委員会 開催日：1月25日。出席者：河西委員長，ほか20名。

1. ISO/TC17 事務局設立準備委員会報告
 大手町の日本ビル別館 10階に事務局を開設することを内定し，鉄鋼技術情報センターも現在の13階から10階に移転する。54年度の経費として約9千万円を予定している。

2. 講演大会への海外からの参加について
 Trans ISIJ に3ヶ月毎に講演募集案内を掲載し，積極的に勧誘を行なう。又大会への参加も呼びかける。実施時期は昭和54年秋季大会（名古屋）とし，一般講演を対象とする。又，中国金属学会に対し，大会参加に歓迎する旨の案内状を出すことになった。

研究委員会

第6回研究委員会 開催日：1月19日。出席者：不破研究委員長，ほか16名。

議題(1)，(2)について討議し次の取り決めをおこなった。

(1) 研究助成金申請研究審査について
 助成金申請者の年齢制限を現行40才から35才に下げたことを全員一致の賛同で決定した。但し秀逸した研究を年齢制限だけで不採用とすることは好ましくないのので「原則として」の項をつけ加え含みの入れた表現とすることにした。

(2) 共同研究問題懇談会について
 懇談会一切を佐野先生(東大)にお任せし，研究委員会から代表者がオブザーバーとして参加することにした。なお今回の懇談会は最初の試みでもあり，製錬関係者だけに出席を限定したが将来は永続性のある懇談会とするため，材料，加工部門まで拡大しサロンの雰囲気を持った会にするよう強い要望が出された。

編集委員会

第12回和文会誌分科会 開催日：2月2日。出席者：長嶋主査，ほか18名。

1. 14件の論文審査報告がなされ，掲載決定11件，

その他3件であった。

第12回欧文会誌分科会 開催日：2月7日。出席者：橋口主査，ほか8名。

1. 11件の論文につき審査報告がなされ，掲載可2件，照会后掲載可7件，修正依頼1件，一旦返件1回であった。

2. 「鉄と鋼」65年2号より1件のLectureを依頼することとなった。

共同研究会

第71回計測部会・第42回秤量分科会(合同開催)

開催日：2月8，9日。出席者：宮崎部会長，中沢主査，ほか125名。

1. 場所 神田学士会館
 2. 今回は初めての試みとして，計測部会，計測部会秤量分科会を合同で開催した。

(1) 計測部会
 一般研究報告として，鉄鋼製造各プロセスの計測技術に関する報告(21件)があった。

(2) 計測部会秤量分科会
 (a) 共通議題
 第41回分科会における共通議題「トラック・貨車秤り及び基準器の現状と問題点」についてのアンケートまとめ報告があった。

(b) 自由議題
 鉄鋼製造各プロセスにおける秤量に関する報告があった(8件)。

3. 次回計測部会は5~6月，神鋼・神戸にて開催予定。

材料研究委員会

第33回委員会 開催日：1月26日。出席者：鈴木幹事長，ほか9名。

1. 焼入性データの解析
 他の多くのデータからのずれの大きなデータの取扱いについて討論を行なった。

2. 54年度方針
 焼入性の定義，元素間の交互作用の検討，実用に供することのできる焼入性式等の提案が行なわれたが決定には至らず次回検討することとなった。

正 誤 表

鉄と鋼 65 (1979) 1, p. 44~52

高炉炉口部におけるガス温度分布と装入物の降下速度および層厚との関係

頁	誤	正
47 (6) 式中	$V_0 = \dots \dots \dots \{ \tan \theta_0 - \tan (\theta_0 - \beta) \}$	$V_0 = \dots \dots \dots \{ \tan \theta_0 - \tan (\theta_C - \beta) \}$
50 (26) 式中	$v^* = \frac{u_{av}}{v_w} = \dots \dots \dots$	$v^* = \frac{v_w}{v_w} = \dots \dots \dots$